直方の歴史と文化

文 榊 正澄

第71回

直方文学散歩・俳句編
直方の句碑巡り その三
野見山朱鳥句碑と二蕉庵直峰句碑

野見山朱鳥の生涯

野見山朱鳥（本名・野見山正男、一九一七～七〇）は直方町新町に生まれ、旧制鞍手中学（現在の福岡県立鞍手高校）を卒業後に画家を目指して上京しましたが病気のため帰郷し、各地で療養生活を送りながら俳誌「ホトトギス」総帥の高浜虚子に師事して俳句の研鑽に努めました。

昭和二十一年一九四六年にホトトギスの第六〇〇号が発行され、その雑詠の巻頭を飾ったのが朱鳥の句「火を投げし如くに雲や朴の花」と「なほ続く病床流転天の川」でした。

昭和二十四年にホトトギスの同人に推挙され、翌年に第一句集「曼殊沙華」を発行。昭和二十七年から俳誌「菜殻火」を主宰し、全国的に名を高めましたが次第に孤高の道を歩むことになり五十二歳で没しました。

野見山朱鳥の句碑

多賀公園の鉄道線路側の福智山を望む斜面に昭和四十七年一九七二年に菜殻火社の同人が建立しました。

表面には出世作の「火を投げし如くに雲や朴の花」

裏面には「苦悩や悲哀を経て来なければ魂は深くならない」

が刻まれており、句に因んだ朴の木が横にあります。

句碑の左側に夫人の野見山ひふみさんの句碑が後に建立されました。

野見山朱鳥の句碑は市外にも遠賀郡芦屋町の魚見公園（国民宿舎あしやに隣接）内、岡垣町の龍昌寺境内、飯塚市の旌忠公園内、大牟田市の旧国立療養所銀水園（現国立病院機構大牟田病院、戦時中入院）内、八女市の無量寿院（坂本繁二郎の筆塚の前）墓地内にもあります。

野見山朱鳥句碑
（多賀公園内）

二蕉庵直峰の生涯

二蕉庵直峰（本名・伴博隆、一八八二～一九七一）は現在の糟屋郡粕屋町に生まれて九州鉄道に就職し、昭和七年一九三二年に国鉄直方機関区の助役で退職した鉄道員でした。

大正元年一九一二年に山部の住人二畳庵峰月の弟子となって俳諧の道に入りました。

俳諧の系図では芭蕉から数えて十代目の旧派俳諧の直方における最後の伝承者で、玄海吟社を興して後進の指導に努めました。

二蕉庵直峰の句碑

山部の随専寺山門の手前、弁財天堂の右側にあり、昭和三十六年一九六一年に玄海吟社の門人が建立しました。

「行くほどに月雪花の道ふかし」

二蕉庵直峰句碑
（随専寺門前）

文化財に関する問い合わせ…文化・スポーツ推進課社会教育係（TEL 25-2326）

インターネット情報提供サービス

SNSやwebサイトで様々な情報発信を行っています。ぜひ、ご覧ください。

直方市インスタグラム
さあ、あなたもフォロー！

アプリ「マチイロ」
市報をアプリで配信中！

直方市公式LINE
直方市と友だちになろう！

情報メール「つながるのおがた」
緊急情報、イベント情報など

直方市バーチャルミュージアム
直方の文化を隅々まで

人の動き

■人口　56,238人（－387）　■世帯数　27,288世帯（＋68）
〔うち外国人569人〕
男　26,558人（－201）
女　29,680人（－186）

令和2年12月末現在
（　）は前年同月との比較

＜発行＞直方市
〒822-8501 福岡県直方市殿町7番1号
URL … http://www.city.nogata.fukuoka.jp/
＜発行日＞毎月1日（月1回）
＜編集＞秘書広報課秘書広報係
TEL … (0949)25-2236　FAX … (0949)22-5107
E-MAIL … n-koho@city.nogata.fukuoka.jp
＜印刷・制作＞株式会社ワールドプリンティング

市ホームページ

UD FONT